

## (別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	山形県庄内総合支庁
実習期間	令和 元 年 8 月 19 日 ～ 令和 元 年 8 月 23 日
学生氏名	小野 雄祐
実習プログラム	<p>8月19日（月） 地域産業経済課</p> <p>8:30～10:10 ガイダンス（庄内地域の概要、事務概要）</p> <p>10:10～10:45 新聞記事の切り貼り</p> <p>10:45～12:00 ガイダンス続き</p> <p>12:10～14:45 外出（加茂水族館、水産試験場）</p> <p>14:50～15:50 ガイダンス（六次産業、食の都庄内）</p> <p>15:50～16:50 SNS 投稿案作成</p> <p>8月20日（火） 地域産業経済課</p> <p>8:30～9:05 ガイダンス（採石業、採石場巡回監視業務）</p> <p>9:10～12:30 採石場巡回監視</p> <p>13:15～13:35 ガイダンス（ポートセールス）</p> <p>13:40～16:00 ポートセールス</p> <p>8月21日（水） 税務課</p> <p>8:45～10:15 ガイダンス（税の徴収、予算や財政状況）</p> <p>10:30～11:10 ガイダンス（不動産取得税（原始）、個人事業税、産廃税、ゴルフ場利用税）</p> <p>11:20～12:00 ガイダンス（不動産取得税（承継）、狩猟税、自動車税、自動車取得税、鉾区税）</p> <p>13:00～14:30 ガイダンス（法人二税、軽油引取税、軽油抜取調査体験）</p> <p>14:35～16:05 ガイダンス（納税業務、滞納整理業務、タイヤロック・ミラー封印体験）</p> <p>16:10～16:40 ガイダンス（管理業務概要、窓口業務概要）</p> <p>8月22日（木） 環境課</p> <p>8:50～9:30 ガイダンス（クリーンアップ運動）</p> <p>9:40～12:00 外出（漂着物アートの材料集め）</p> <p>13:00～15:10 ガイダンス（事務概要、鳥獣被害）</p> <p>15:10～16:20 ディスカッション（鳥獣被害）</p>


	<p>8月23日(金) 環境課</p> <p>8:35~9:25 ガイダンス(山形県の大気・水環境、環境保全業務)</p> <p>9:30~12:00 外出(一般環境大気測定所、関伽井の清水)</p> <p>13:00~15:15 外出(鳥獣保護施設、火力発電所、風車見学)</p> <p>15:30~16:15 ガイダンス(再生可能エネルギー)</p>
<p>学び・気づき (300字程度)</p>	<p>2日目の午後にポートセールス活動に同行させてもらった。製造業を主に行っている会社に訪問し、私と地域産業経済課の上野さん、代表取締役の方で話し合いをした。すぐに本題を話すのではなく、昨今の世界経済事情などの世間話を本軸とし、その途中で様々なポートセールスに関わる質問をすることで、企業の現状を把握し、議論する課題の内容を知ることができ交渉をスムーズに進めるという知恵を学ぶことができた。また、何気ない話題の中で重要だと思ったことを担当の上野さんは事細かにメモしており、本題のポートセールスの話題に入った際はそのメモを駆使し、酒田港を使用するメリットを説明していた。このことからメモは重要なことはもちろん、それ以上に人の話に耳を傾ける傾聴力がとても大事だということを学ぶことができた。</p>
<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>今回のインターンシップを通して、積極性が少なかったことが課題として挙げられる。2日目の採石場巡回監視業務に同行させてもらった際、採石場の設備や仕事内容について説明してもらったが、質問することができなかった。また、1日目の午前に行った新聞記事の切り貼り作業では制限時間が定められていたが、少し短く設定されており制限時間内に新聞記事の切り貼りを終えることができなかった。少し時間を伸ばしてもらおうよう相談したり、迷ったらすぐに質問しに行くといった積極性が私には少し欠けていると感じた。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>5日間の実習プログラムをこなしていく中で庄内総合支庁は、ポートセールスでは企業の生の声を聴くため職員自ら訪問し助成について話し合ったり、食の都庄内の事業では食の都庄内加盟店へ足を運び、飲食物をSNSやパンフレットに掲載し宣伝するといったように、地域に寄り添いともに歩いている。また、山形県のほかの地域や他県と比べ庄内地域は、自動車税や固定資産税のような県税を滞納する人が極端に少ないと税務課で学んだ。これは庄内総合支庁が前述したようなことで住民と密接なつながりができているからだと思う。確かにほかの役所も地域の人々のため事業を展開していると思うが、庄内総合支庁はそれ以上に地域を思い寄り添っている。このことが魅力だと考える。</p>

写真 (1~3 点)

## (別紙12)

## 大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	山形県庄内総合支庁		
実習期間	令和 2年 2月 17日	～	令和 2年 2月 21日
学生氏名	佐藤 択哉		
実習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部署の業務説明</li> <li>・消費生活出前講座同行</li> <li>・加茂港、羽黒橋加茂線、山形県酒田海洋センターの現場見学</li> <li>・森林資源活用セミナーの補助 Facebook の原稿作り</li> <li>・自然公園管理員等説明会</li> <li>・木質バイオマス地域利用セミナーの補助</li> </ul>		
学び・気づき (300字程度)	<p>私たちの目に見えているものにはほとんど行政が関わっていることに気づき、それほど行政の仕事は多岐にわたっていることが分かった。また、ひっきりなしに電話がかかってくるかたり机の上の大量の資料があったり、仕事が膨大で大変忙しい。庄内地域の発展のためにたくさんの事業を行っているにもかかわらず、庄内地域の人々は知らな過ぎていと身をもって感じた。庄内地域発展には住民の興味、理解、協力が不可欠であると考えた。県職員は国家や市の職員と違い中間の立場であるので、やりがいを感じづらく強固なポリシーが必要であることも知ることができた。</p>		
今後に向けた抱負 (200字程度)	<p>今回のインターンシップを通し、実際に行政の仕事を体験することで行政のイメージが確立したと感じる。特に短い時間で資料を分析まとめて現状・課題・考察を考える力を身につけていきたい。また、行政で働きたい動機・理由を強固なものにしていきたい。5日間で数多くのことを吸収することができた。何事にも積極的にやる選択をとりたい。この経験をこれからの人生に生かしたいと思う。</p>		
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	<p>5日間インターンシップがあったのだが、毎日違う部署で実習を行わせていただけて本当に様々なことを吸収することができる。行政の仕事はもちろんのこと行政で働くうえで必要なスキル、考え方、ビジネスマナーについても教えていただいた。一番の魅力は行政の仕事を体験することで行政はこういうものだと思える。具体的イメージできることだと思う。庄内地域発展のために日々業務に励まれている職員の方々の様子を見ながら業務を体験させていただけるので、いい刺激を受けることができる。行政を肌で感じるため、将来公務員になりたいと考えている方には打って付けであると考えている。</p>		
写真 (1～3点)			



実習企業・機関	庄内総合支庁
実習期間	令和 2年 2月 17日 ~ 令和 2年 2月 21日
学生氏名	高橋 遥
実習プログラム	<p>1日目 地域産業経済課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域産業経済課担当業務オリエンテーション</li> <li>・次年度若者定着促進事業の検討(産業振興)</li> <li>・事務作業</li> </ul> <p>2日目 総務課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災安全室担当業務オリエンテーション</li> <li>・消費生活出前講座(講座準備、運営補助、事務補助)</li> <li>・市町との連携施策推進関係事務(事業概要把握、事務補助)</li> </ul> <p>3日目 建設総務課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山形県の都市計画オリエンテーション</li> <li>・部署見学</li> <li>・現場見学(加茂港、山形県酒田海洋センター、羽黒橋加茂線)</li> </ul> <p>4日目 総務課・森林整備課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林資源利活用セミナー(会場設営、受付補助、スタッフ業務)</li> <li>・Facebook 原稿づくり</li> </ul> <p>5日目 環境課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境課担当業務オリエンテーション</li> <li>・自然公園管理員等説明会見学</li> <li>・木質バイオマス地域利用セミナー(会場設営、受付補助、運営補助)</li> </ul>
学び・気づき	<p>実習を通じて、気付きの重要さを学んだ。なぜこうなるんだろうと疑問に思ったときがあり質問したところ、想像とは違う視点からの返答がきた。そこから、ならこうではないかと考えが浮かんだ。気づき1つ取ってもそこから何通りもの考えが生まれ、考え方次第で結果が変わる。この経験から、気付くことの重要性を見出せた。</p> <p>実習は、職員の方々の膨大な業務が印象的だった。資料を頂き、現状・課題・方策の3つを導き出すという課題が出されたときがあった。短時間でその3つを導くことに苦労した。またある職員の方から「近年は、大災害や北朝鮮のミサイル・新型ウイルス等の予想外の事態が発生し、以前はしてなかった業務も担っている」と聞いた。限られた時間の中で通常業務をこなすだけでも苦労したので、更に特別業務もこなすことに驚き、感服した。</p>
今後に向けた抱負	<p>様々な分野の情報収集を今後意識したい。職員の方との会話や質問でわからないことが多く、「もっと知識を得ていたら」と後悔したときがあった。日頃からニュースやテレビ等のメディアに触れて、幅広い分野の知識を蓄えたい。</p> <p>今後特に力をいれたいのは、物事を筋道立てて考えることである。実習中最も苦労したのが現状・課題・方策の3つを導き出すことで、自分は論理的思考力が足りないと感じた。これから時間はかかるかもしれないが、情報1つ1つを明確にして物事を順序立てて考えていきたい。</p>

インターンシ  
ップをして気づ  
いた、実習先の魅  
力

私の中で行政職は堅いイメージがあったが、実習先は明るく、和やかな雰囲気が印象的だった。私は、部署から枝分かれして課ごと個々の部屋に分かれて作業をしていると思っていた。しかしそうではなく、各部署が1つの部屋に集まって作業をしていた。開放的な印象を受け、だからコミュニケーションがとりやすいのだと考えた。

それに似て、アイデアや情報の共有が頻繁に行われており、職員の方同士が常に円滑にコミュニケーションをとれていることが魅力であると思う。デスクワークだけに特化しておらず、人同士の関わり合いが活発だと感じた。

写真

